

# マスタデータの健康診断！ Quickプレ診断 サービス

こんな課題でお困りではありませんか？

ETL/EAIやDWHを導入してバラバラに保持しているマスタデータを統合したい、BIツールを用いて今まで蓄積してきたデータから経営に役立つ分析をしたい。でも何故か思うようにできない・・・。

- 複数のマスタでどのレコードとどのレコードを統合したらいいんだろう・・・。

例)

Aシステム顧客マスタ

氏名	住所	生年月日
斉藤太郎	東京都江東区・・	1980年1月1日

↑ ↓ 「斉」の字が異なるだけのようだが、同一人物と見なして統合してよいのだろうか？

Bシステム顧客マスタ

氏名	住所	生年月日
齋藤太郎	東京都江東区・・	1980年1月1日

- マスタを統合したけれど、データの粒度が合っていないかっったり重複している・・・。

例)

統合仕入先マスタ

コード	仕入先名
000001	AAA株式会社
000002	AAA株式会社 東京支店
000003	(株)ビービービー
000004	株式会社BBB

↓

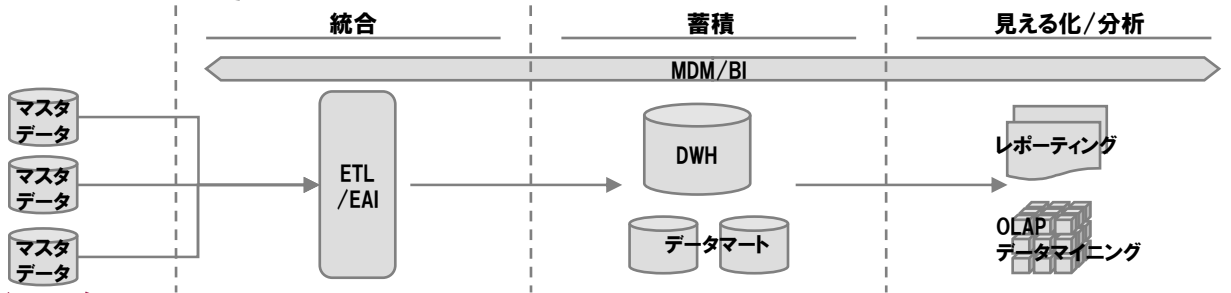
法人格レベルで管理している仕入先マスタに支店レベルのデータが入っている。  
カタカナとアルファベットで、同一法人格だと思われるデータが存在する。

- どうも実態と合っていない気がする・・・。
- 真に見たい情報が見られないから結局Excelで作り直し・・・。

例)

品目別在庫推移状況

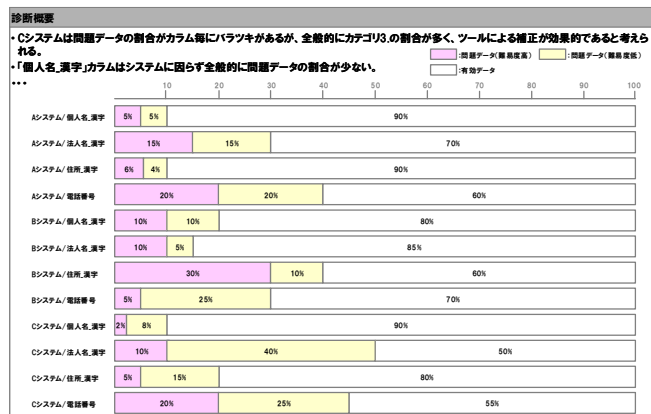
品目A,B,Cは同じBOMに組み込まれている品目なのに、品目Aだけ推移が異なる。



多くの場合、マスタデータに問題データ※が含まれていることが原因です。  
RealizeのQuickプレ診断サービスは、業種/業務に依らず短期間/低コストでマスタデータを診断し、問題データの解明/対策の立案を実施します。

※規約外値やNULL値、重複値、不明値など、本来存在してはいけないデータ。  
入力時/異なる環境間を転送される時等、業務上の様々なプロセスで生成されます。

□Quickプレ診断サービスでは、お客様のデータの整備度合いを視覚的に提示します。



□Quickプレ診断サービスでは、システム毎/カラム毎に問題データの実例、生成される想定原因/業務への影響/推奨解決策等を提示します。

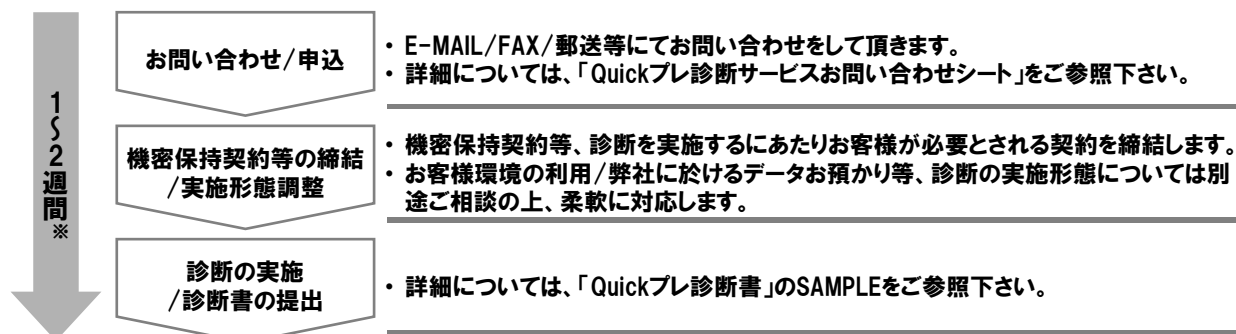
□対象データ

システム	Bシステム	ベースとなる文字コード	SHIFT JIS/UNICODE
ファイル形式	Microsoft Office Excel2003 SP3	診断レコード件数	50,000件 (Sequence No.重複のレコードを抽出)
全レコード件数	500,000件	カラム	個人名_漢字
型	VARCHAR2	行	20行

□問題データ診断結果

カテゴリ	件数	割合	主な問題データ	想定原因/業務への影響/推奨解決策等
難度高	2,500件	5%	NULL値:500件 空白:200件 ルール不適合:100件(後リアライズ-スズキイチロウ) 不明:30件	これら難度高の問題データは、既述に準って検証する以外に解決方法はありません。これら難度高の問題データは、割合は少ないですが件数は2,500件であり、見過ごすことはできません。難度高の問題データは必ずしも業務に支障を及ぼすことがありませんが、業務の効率化やコスト削減の観点から、業務に支障を及ぼす可能性があるデータは、事前に検出され、業務に支障を及ぼす前に修正することが重要です。データが生成される環境に基いてデータの発生を抑制し、業務の効率化を図ることが重要です。これらのデータが生成されないためのプログラミングと共に、再入力を実施します。 不明:30件 ・あいづお ・藤太郎 ・藤花子 個人名_漢字カラムに個人名が入力されていることは、入力ルールが厳格化されていない、あるいは補正されていないことが考えられます。業務の効率化やコスト削減の観点から、業務に支障を及ぼす可能性があるデータは、事前に検出され、業務に支障を及ぼす前に修正することが重要です。個人名_漢字カラムは業務を特定する上で最も重要な項目であり、「あいづお」のような、業務の効率化やコスト削減の観点から、業務に支障を及ぼす可能性があるデータは、事前に検出され、業務に支障を及ぼす前に修正することが重要です。これらのデータが生成されないためのプログラミングと共に、再入力を実施します。
難度低	2,500件	5%	異種字:100件 重複:20件	これら難度低の問題データは、データとしては問題ではないものの業務の効率化を阻害する可能性があります。また一般向けツールに依って特定の業務/業務領域を特定しているもので、業務効率化の観点から、このデータはレギュレーション不適合、分析精度の低下等の影響を及ぼす可能性があります。業務効率化の観点から、業務に支障を及ぼす可能性があるデータは、事前に検出され、業務に支障を及ぼす前に修正することが重要です。データクレンジング、名寄せを実行する適切なツール選定を実施しますので、ツールで業務可能な範囲で解決されることを推奨します。

## 実施の流れ



## 金額(税抜き)

※実施期間、金額はレコード5万件、カラム4件を上限とした値となります。上限を超えるボリュームをご希望の場合は別途ご相談の上、柔軟に対応します。

~~99万8千円※~~

サービス開始キャンペーン実施中!

2009年9月末まで!

先着10社限定!

**19万8千円※**

## 短期間/低コストで実施できる秘密

- ・ 創業以来10年以上に渡りデータマネジメントを専業として450プロジェクト以上の実績を積んでおり、大量かつ複雑なデータをマネジメントする方法論、ノウハウを有しています。
- ・ データ種別(個人情報、品目マスタ情報、購買実績情報等)毎に着目すべき観点を有しています。
- ・ 一般的にツールでは定義されていない、専門家だからこそ判断できる問題データパターンを定義しています。

## Quickプレ診断実施の効果

- ・ システム開発に於けるデータ移行の方針/計画策定の一助となります。  
✓問題データがこれだけあるならば、データ移行にはこれだけの期間/工数が必要。等
- ・ データ関連ソリューション(MDM、ETL/EAI、BI等)導入検討に於いて、導入すべきソリューションの見極めの一助となります。  
✓こんなにマスタデータが汚いならETL/EAI導入より先に、データクレンジングが必要。等
- ・ データ関連ソリューション(MDM、ETL/EAI、BI等)導入後に於ける、課題の原因特定の一助となります。  
✓BIツールを導入したのにExcelで集計し直さなければならなかった原因は、こんなに問題データがあったからか。等
- ・ Quickプレ診断書を貴社内に於ける問題提起/予算獲得の根拠資料として活用できます。

100年に一度と言われる不況の昨今、  
企業活動の中で蓄積されたデータを、如何に統合していくか/如何に活用していくかが、  
企業生命を左右する時代です。  
統合/活用の成功に向け、是非、Quickプレ診断サービスをご活用下さい。

# Realize

Make IT Real Business

□お問い合わせ

株式会社リアライズ コンサルティング事業部

〒: 135-0061 東京都江東区豊洲4-1-23 TB豊洲ビル

TEL: 03-5548-2188 FAX: 03-5548-2044

E-MAIL: sales@realize-corp.jp

